

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	法政大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホウセイダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップA・B (インターンシップ1・2)
	学部・研究科等名	社会学部
	担当教職員名・役職	田口博雄・専任教授、間島正秀・専任教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	5
	受入企業等数	5
	受入企業等名	八王子市役所、三鷹市役所、相模原市役所、町田市役所、(株)キャリア・ママ
	インターンシップの分類	8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事、2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	役所もしくは企業に学生が1週間から2週間出向き、実際に就業体験を行うとともに、インターンシップ先の業務理解の研修やワークショップを受講する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次以降
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	2年次以降履修可能な教養科目(視野形成科目)として受講し、2単位の修得が可能。本科目の受講にあたっては担当教員との面談が必要である。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている。2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている。4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている。2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている。3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ先の業務内容やトピックスの下調べ、プレゼンテーションの実施。実習前に、担当教員と社会学部事務課より注意事項、社会人マナー講習会の実施。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中は原則毎日の日誌記入をさせ、インターンシップ終了後の授業期間で振り返りを実施。振り返りの際に、プレゼンテーションを行い、最終的には報告書を作成し、提出させる。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	担当教員と事務課員で面談を実施している。学生より要望のあった際はメールにて情報を共有している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後に報告書作成とレポートを作成し、プレゼンテーションをする機会を設けている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	14日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	特になし。

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	市役所もしくは企業と毎年協定を結び、インターンシップを実施。大学と企業が共同しインターンシッププログラムを設計・運営している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.hosei.ac.jp/web/preview.php?no_id=1709368&nendo=2017&gakubu_id=社会学部&gakubueng=AE&radd=506
問い合わせ先	大学等名	法政大学
	担当部署名	教学企画課
	担当者役職名	
	担当者氏名	湯山 颯太
	電話番号	03-3264-9076
	メールアドレス	gakumu@hosei.ac.jp